

★日蝕グラス試験★

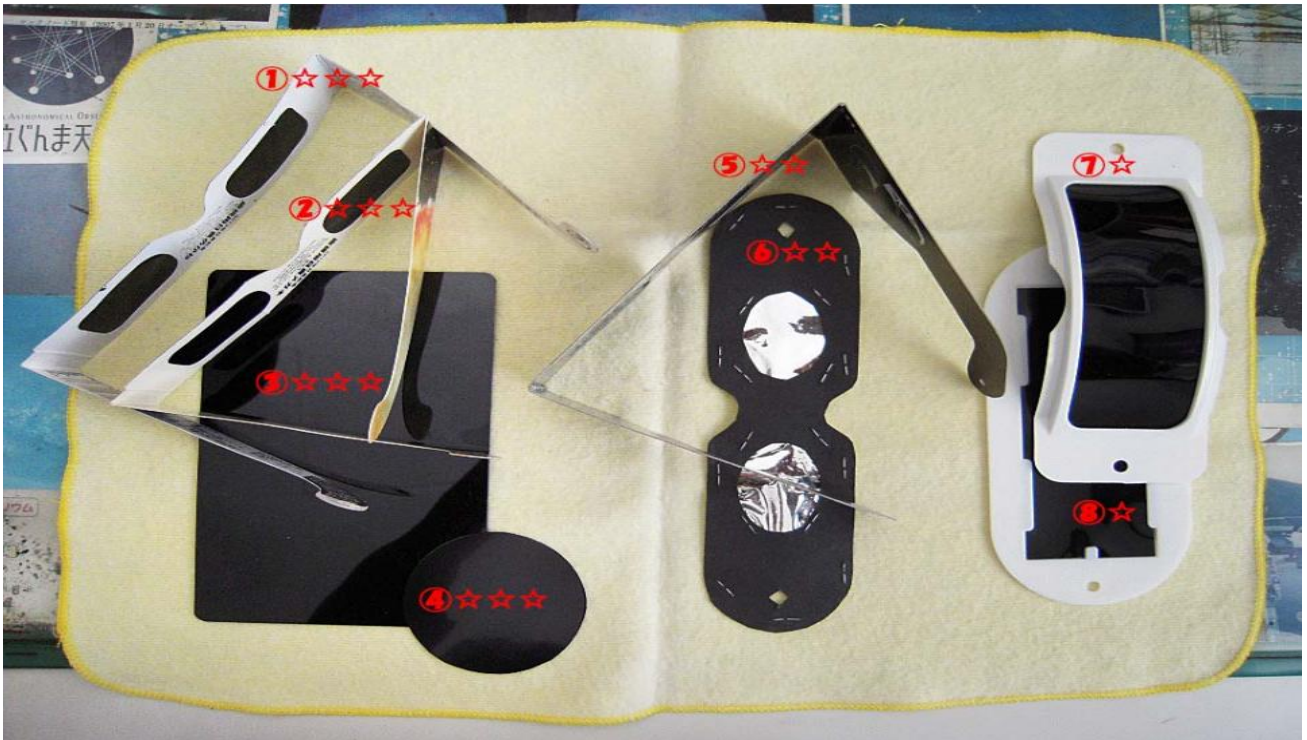
文責 川・天 谷川 20250503

天教の皆様お世話になっております。関東地方、心地良い春の陽気となっておりますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。私、谷川は連休にも関わらず自宅待機を余儀なくされている事情も御座いますが、何とか暇もあり、太陽くらいは観察出来る環境にあります。

時間も取れそうなので、今回は日頃気になっていた日蝕グラス(太陽観察用フィルター)の適性をまとめてみましたので結果をご覧ください。

手持ちの物でやってみましたが、種類により結構に差がある事に驚きました。視力 1.0 程で太陽高度 70 度位ではこんな結果となりました。対象黒点は 4079 群、先日来良く見えている物でチューリヒ分類G2~3 と思われます。双極型でもあり、良く見ると肉眼でも楕円形に繋がる様子が分かる形状です。

以下、添付写真を参照の上拝読願います。



図上、☆☆☆は完全に黒点を認める物 ☆☆はやや鮮明さに劣る物 ☆は見えないか難のある物

品種は以下、

- ①市販品②より幅広
- ②市販品①と同一製作社と思われる。
- ③某天文雑誌社の付録
- ④入手先不明(円形のもで入手)
- ⑤全面に黒の配色で印刷
- ⑥某社ので自作した物だがシワシワ。
- ⑦如何にも安価と思われる
- ⑧平面型で⑦と同じ材質らしい。

以上、一概には言えませんが傾向として、

- 1) 厚みがある素材のは見え難い。中には厚めであっても十分使えるのも有る。
- 2) 光学濃度が有る物は見易い。透過率が大きくても着色のせいに見えるのも有る。
- 3) 単眼よりも双眼で見た方が見えるようだが、見えの良い物は単眼でも十分認められる。

のようになりました。

※注意)実際の太陽観察は十分な減光をした設備で行って下さい。

また、以後にも日蝕グラスのテスト(安全性)の簡易試験を行いました。



- 1) 見えの良いのは素材は比較的薄くて、悪いのは厚い傾向にあります。
- 2) その意味、お安いのは厚いのが多くて、丈夫ですが実用だけ。
- 3) 見えの悪いのは太陽像がゴーストとかフレアが多い傾向となり、表面に汚れが多いとやはり鮮明さに欠けます。(^^)
- 4) 以後のレスとしまして(^^)の手持ちの上記品を簡易的ながらテストしました。
- 5) 添付をご覧頂いているようにいずれも近赤外は透過しておりませんで、ひとまずは安心です。(中にはカメラのオートフォーカス光が写り込んでいるものもあります。)